

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

記入例

調査日時： 令和8年6月1日 午前・午後3時

調査を行った日時を記入してください。

調査者氏名： 前橋 太郎

調査を行った方の氏名を記入してください。押印不要です。
調査者の資格等は問いません。

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者：前橋 太郎
2. 建築物所在地：前橋市大手町二丁目1番1号
3. 階数：2階

前提条件を確認し、✓を記入してください。
2項目のうち、どちらか1つ若しくはどちらも
該当しない場合は本調査の対象外となります。

II) 前提条件の確認 (いずれも必須)

チェック欄

木造住宅である	✓
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	✓

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(✓が1つ以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

チェック欄

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	✓
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	柱、梁、壁	<p>各項目について、該当する場合は✓を記入してください。 該当する項目が1つでもある場合は、「倒壊する危険性がある」と判断されます。以降の記入は不要です。 各項目の例示については、P4を参照してください。</p>
	柱、梁、壁	
	柱、梁、壁	

注) 該当することを証明する写真の提出が必要です

IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。(別紙1及び別紙2を添付)

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ) 壁の割合

方向	壁の長さ (m)	建面 (㎡)	イ/ロ	必要値	ハ/ニ
X	27.5	78.75	0.34	0.2	1.70
Y	20.0	78.75	0.25	0.2	1.25

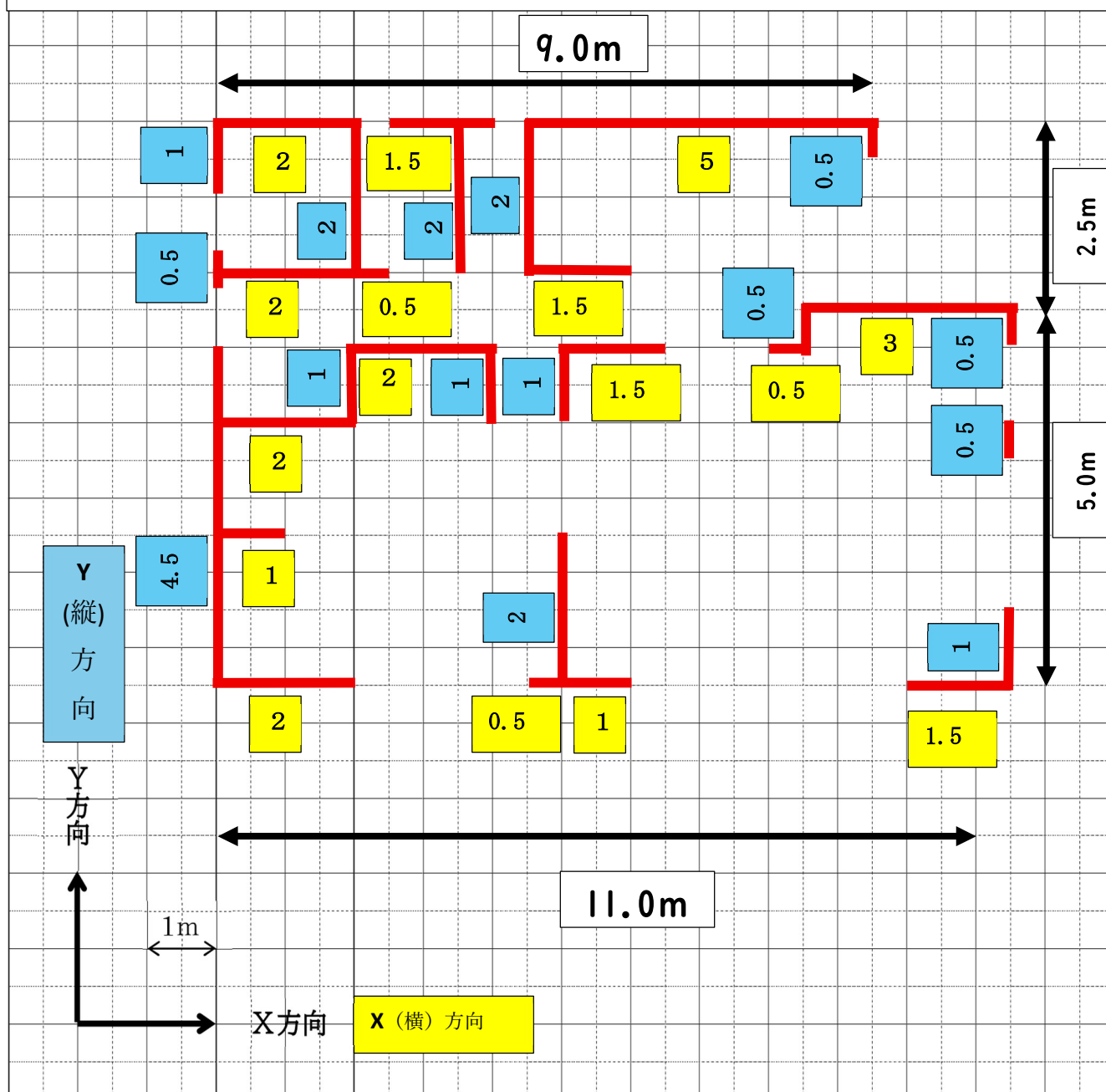
(別紙1) (別紙2)へもあわせて記入してください。

IV) 壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

【記入方法】

- ・ 壁の長さを計測してください。
- ・ 1ます（実線）で0.9m（又は1.0m）として記入してください。
- ・ 窓、ふすま、障子、ドアなどの開口部は記入不要です。
- ・ 2階建ての場合は1階部分のみ記入してください。
- ・ すべての部屋（各部屋1枚程度）の内観写真を提出してください。
- ・ 屋根の種類がわかる外観写真を提出してください。



壁の長さの合計

建物の X (横) 方向の壁の長さの合計を記入してください。

建物の Y (縦) 方向の壁の長さの合計を記入してください。

① X (横) 方向

① 27.5 m

② Y (縦) 方向

② 20.0 m

① ②のうち小さいほうを記入してください。

イ 20.0 m

面積

ロ 78.75 m²

平面図から、面積を m² 単位として求めて記入してください。
注) 小数点第3位切捨て

単位面積あたりの壁の長さを求めます。

(イ) 欄「壁の長さ」を、(ロ) 欄「面積」で割った値を記入してください。

注) 小数点第3位切捨て

(イ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ 20.0 ÷ ロ 78.75 = ハ 0.25

(ロ) 必要な壁の長さ (下の表から該当するものを選んで記入してください。)

ニ 0.2 m

下の表から該当するものを選んで記入してください。
(※例として、平屋の軽い屋根を選択しています。)

下の表から該当するものを選んで記入してください。

屋根の種類	階数	平屋	2階建て
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート)		0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)		0.27	0.59

(ハ) 壁の割合

ハ 0.25 ÷ ニ 0.2 = ホ 1.25

壁の割合を求めます。(ハ) 欄を、(ニ) 欄「必要壁長さ」で割った値を記入してください。

一見して倒壊の危険性があると判断できる項目の例示

箇所	項目	例
建物全体	全体又は一部に崩壊がある	<ul style="list-style-type: none"> ・建物全体が崩壊・落階している ・屋根や外壁の一部が脱落している ・柱が折れている ・外壁に亀裂や穴が生じている
	全体又は一部に傾斜や変形がある	<ul style="list-style-type: none"> ・建物全体が傾いている ・軒がうねっている ・軒先が垂れている ・柱や壁が傾いている ・床に起伏がある
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の沈下や建物の沈下が見られる
	基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎が玉石、石積み、ブロック、レンガ等である
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎がひび割れている ・基礎が一部が欠けている ・鉄筋の露出や鉄筋のさび汁が見られる
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	<ul style="list-style-type: none"> ・部材が食害されている（特に床下や小屋裏等の暗くて多湿な箇所を確認） ・白蟻の巣がある ・部材に虫がわいている
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	<ul style="list-style-type: none"> ・部材が湿気等により腐っている ・部材にカビが生えている
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	<ul style="list-style-type: none"> ・部材に穴がある ・部材がかけている ・部材に亀裂が見られる（表面的なひび割れは不可）